

平成30年度学校自己評価シート

| | |
|--------|---|
| 目指す学校像 | 生徒が自律の心と明確な目的意識をもって自分の夢の実現に挑戦し、保護者や地域社会の期待と信頼に応える学校 |
| スローガン | キミに「生きる力」 |
| 重点目標 | 1.安全で明るく楽しい充実した高校生活を送るための指導 |
| | 2.基本的な生活習慣とルール・マナーの定着指導 |
| | 3.学力定着と学年に応じた進路指導に取り組み、満足度の向上を計る |
| | 4.資格取得や確かな知識・技術を習得させる指導 |

| 年 度 当 初 | | | | | |
|---------|----|---|--|---|--|
| 部名 | 項目 | 現 状 | 評価項目 | 具体的な方策 | 評価指標 |
| 保健安全部 | 1 | 全国的にインフルエンザが流行したが、本校では学級閉鎖はなかった。 インフルエンザ欠席 179名 学級閉鎖 0クラス その他感染症 14名 | ・手洗い・うがい・換気の大切さについて指導。 ・感染症発生時期や発生時の迅速は情報提供と対応。 | ・泡石鹼や手指消毒の使用や換気を実践したか。 ・発生時に生徒・職員・保護者へ状況や対応策を伝えたか。 | ①泡石鹼・手指消毒の使用量測定。 ②放送を利用し換気の推奨。 ③職朝やほけんだよりでの情報提供。 |
| 教育相談部 | 1 | 学校生活を楽しく過ごしている生徒が多くいる反面、集団に適応できずに悩んでいる生徒や登校状況がなかなか改善できない生徒も多い。 | ・コミュニケーションをスムーズにとれるための力を高める。 ・学級担任や学年部等との連携指導を充実する。 | ・HRにおいて、人間関係づくりに取り組む工夫をする。 ・欠席等のきめ細かな把握に努め組織的・計画的な支援に努める。 | ①HRにおいて、人間関係づくりや改善の方法等について考える機会を多くもったか。 ②個々の欠席状況に応じた連携指導ができたか。 |
| | 2 | 生徒一人一人が自分の個性を生かしながら学校生活を送っているかは疑問である。 | ・学校生活に生きがいを見つけ、自立心や向上心を自ら育ていけるように指導・支援する。 ・自信や自尊感情を高める。 | ・Q-Uテスト・エゴグラム・進路意識調査等から生徒を多面的に理解しながら生活の改善を図る。 ・個人やグループで活動する場を拡充して達成感や充実感を醸成する。 | ①教育相談で、生徒を多面的に理解し、生徒それぞれが改善点や目標をもてるようになったか。 ②係活動や行事等で協力・協働する場を積極的に設けたか。 |
| | 3 | ネット依存、睡眠不足や食生活の乱れなどにより、生活習慣のバランスを失いかけている現状がある。 | ・健全な余暇を過ごすことができる。 ・毎日のさわやかな起床と朝食を食べる習慣が身につくよう継続的な指導をする。 | ・HRで余暇の過ごし方や生活習慣の改善について考えさせる。 ・各家庭向けの啓発資料を作成・配布する。 | ①生徒の生活実態をアンケートで調査把握し、生活改善に生かしたか。 ②啓発用の資料『週刊 かわら版』を作成し配布できたか。 |
| 生活指導部 | 2 | 登下校時の門礼、授業開始・終了時の挨拶、来校者への挨拶・礼法に個人差がある。 | 全生徒に目を向けた温度差のない積極的な声かけ指導の徹底。 | ・年間を通した礼法訓練とその場指導の徹底。 ・授業開始、終了時の挨拶徹底と繰り返しの指導。 | ①学校内外での挨拶は確立されているか。 ②授業開始・終了での礼法は確立されているか。 |
| | 2 | 登下校(商業施設・自転車・市電・JR)のマナー違反で苦情がある。規範意識が薄い。 | ルール及びマナーを厳守する定期的な指導。 | ・全校朝会・SHR等の集会を通して交通マナー・携帯電話利用マナー等について指導する。 ・校外巡視指導の実施。 | ③外部からの苦情はなかったか。 ④校外巡視で指導対象になるような生徒はいなかったか。 |
| | 2 | 頭髪・服装容儀等で注意・指導を受ける生徒が見受けられる。その他、警告カードの指導対象者がいる。 | SHR・終礼等での頭髪、服装容儀の徹底指導。 | ・見逃さないその場指導の徹底。 | ⑤服装容儀等での警告カードによる指導は減少したか。 ⑥頭髪等の身だしなみは適正にできているか。 |
| 一年部 | 1 | 清掃状況において、学級全体に各自の持ち場を責任を持って担当しようとする能動的姿勢が感じられない。 | 生徒一人一人が、自分の持ち場を責任を持ってきれいにしようとする姿勢が学級内で浸透しているか。 | 生徒一人一人の担当箇所を明確にし、職員が責任を持って監督をする。美化委員は定期的に教室内の清掃状況を確認、改善に繋げる。 | ①清掃に取り組む姿勢が変わってきたか。 ②それぞれの持ち場を責任を持って担当しているか。 ③美化委員を中心にクラス全体が美化に努めようとする意識が感じられるか。 |
| | 2 | 義務教育の延長的感覚が残存し、高校生としての自覚と自律の心が希薄に感じられる中、それに起因した問題行動も過去数年増加傾向にある。 | 学級と、学年、学科および生徒指導とが密に連携し、多角的かつ高校生としての自覚と自律を促す指導の成果が感じられるか。 | 警告や遅刻・早退カード等の押印回りも含め、学年、学科および生徒指導とも密に連携し、多角的かつ高校生としての自覚と自律につながる指導を徹底する。 | ①問題行動が減少したか。 ②服装容儀や頭髪に改善が見られるか。 ③高校生としての自覚と誇りを持った責任ある行動が取れるようになったか。 |
| | 2 | 入学当初に実施した礼法・マナー・挨拶訓練ならびに校歌練習の成果に持続性がない。 | 定期的礼法・マナー・挨拶訓練ならびに校歌練習の成果が感じられるか。 | 学年朝会や学科別朝会等で継続的に礼法・マナー・挨拶訓練ならびに校歌練習を織り込む。 | ④礼法・マナーが改善されたか。 ⑤心のこもった挨拶ができるようになったか。 ⑥大きな声で校歌を歌えたか。 |

| 年 度 当 初 | | | | | |
|---------|----|---|---|--|--|
| 部名 | 項目 | 現 状 | 評価項目 | 具体的な方策 | 評価指標 |
| 二年部 | 1 | 自分の将来に対して「考える事」から逃避している感じが多い。 | 3年時の進路決定に備え、将来を見据えて、足掛かりを作る。 | ・キャリアガイダンスの有効活用を図る。 ・インターシップ等で社会経験を積み、進路決定に役立たせる。 ・教師が親身になって進路指導に取り組む。 | ①具体的な進路について考えるきっかけができたか。 ②将来の自分像を考えることができたか。 ③進路について保護者や教師に相談できたか。 |
| | 2 | 集団行動の中でのルールが順守できていなかったり、時間にルーズなところや、責任に対しての意識が薄い。 | 将来、必要とされるマナーや時間管理の重要性を理解し、考える力をしっかり身に着ける。 | ・修学旅行等の学校行事を通じて集団行動でのルールや機敏な行動。 ・順守を徹底させる。 ・警告カード等の指導を通じてマナーの向上を図る。 | ①集合時間は守れたか。 ②修学旅行ではルールやマナーはしっかり守れたか。 ③警告カード等は1年時に比べ減少したか。 |
| | 2 | 自分の身の回りの確認が疎かになり、忘れ物があったり、机等の整列が出来ていない傾向がある。 | 棚の整理整頓や机の整列並びに、置き勉なしの意識の向上は感じられるか。 | 先生の呼びかけや、放課後等クラスの状況を把握し、違反生徒には引き続き、警告カード等で妥協せず継続指導を行う。 | ④自分の棚は常に整理整頓されているか。 ⑤机は下校時きちんと並べて下校しているか。 ⑥最後の確認が出来、置き勉はないか。 |
| 三年部 | 1 | 進路の悩み等で、欠席がちになる生徒がいる。 | 在学生、全員が卒業できたか。 | 問題の早期発見と、面談やカウンセリングを通じて、真剣に悩みと向き合う。 | ①進路等の悩みを誰かに相談できたか。 ②理由のない欠席はなくなったか。 |
| | 2 | 例年、進路決定後の学習意欲や生活態度の乱れが見られる。 | 進路決定後も、安定した生活態度と学習姿勢を保てたか。 | 進路が決定した生徒への、進路決定先での対応を含んだ課題を与え、指導を行う。 | ①進路決定後も学習意欲は継続できたか。 ②進路決定後も生活態度は良好であったか。 |
| | 3 | 近年、就職が売り手市場ということで、進路の決定率が100%に近い。ただ、第一希望かという点では、まだ実現していない生徒もいる。 | 早い段階での、進路目標の決定と、それを実現するために努力、後押しができたか。 | 家庭訪問、教育相談で各生徒の希望の引き出しと、定期的な進路相談を実施し、1学期中には希望を決定させる。 | ①1学期中に進路希望を決定できたか。 ②教育相談、家庭訪問で進路の相談をしたか。 ③第一希望の進路に合格できたか。 |
| 進路指導部 | 1 | 進路実現に対しての生徒の意識が十分とは言えない。意識の向上が望まれる。 | 日頃の挨拶身なりや全校朝礼や学年朝礼など様々な集会等における「聞く態度」等の向上。 | ・授業はもとより様々な場面での挨拶の励行。 ・来校者等への自然な挨拶の励行。 | ①様々な場面での適切な挨拶の励行。 ②授業態度の改善。 ③来校者等への自然な挨拶・会釈の励行。 |
| | 2 | 1年生での「自分を知る」2年生での「仕事や学部学科等を調べる」3年生での「進路実現」を目指すべく、生徒間の切磋琢磨を促す。 | キャリア教育プログラムのさらなる充実と生徒・保護者との情報の共有化。 | ・保護者会や学年会等での情報提供をする。 ・進路ガイダンスやオープンキャンパス等への参加を促す。 | ①生徒・職員(特に学級担任)とのコミュニケーション。 ②生徒の積極的な情報収集。 ③ガイダンスや進学就職に関する行事への参加。 |
| | 3 | 特に、最近綺麗な字(丁寧な字)を書く男子生徒が少なくなってきた。 | 3年生履歴書等の書き方・仕上げ。 | 就職希望者だけでなく、全校生徒を巻き込んだ方策が必要。 | ①見た目が綺麗。 ②履歴書を書く時間が少なくなる。 ③雑な記載が減少。 |
| 資格指導部 | 1 | 各学科での取得目標の認識不足や、資格取得に対する意欲に差が表れている。 | 年度当初、目標設定を行い、資格取得によって得られる効果を認識しているか。 | ・資格を考える時間を設定し、すべての生徒が、目標設定を行う。 | ①今年度の、取得目標を立てたか。 ②目標へ向け、どのような取組をしたか。 |
| | 2 | 生徒自身が、自分がどのような資格を持っているのか、曖昧な生徒がいる。 | ・各学期ごとにクラスへ配布する資格取得状況の確認。 ・各学期に出る通知表に記載されている項目の確認。 | ・資格取得時の、合格証書や認定書の保管や管理。 ・各学期ごとの通知表の確認。 | ①自分の取得した資格を理解しているか。 ②通知表を各学期確認しているか。 |
| 特別活動部 | 1 | 学校行事の精選と実施時期は適当か。 | 学校行事の実施上の問題点の把握とその解決策並びに地域への貢献。 | ・学校行事を精選する。 ・学校行事の案内と参加を促す指導。 | ①行事予定表を見て生活する習慣が身に付いているか。 ②学校行事に積極的に参加しているか。 |
| | 2 | 部活動活性化を勧めているが全体的に入部率が低い。 | 進路指導部との連携を図り部活動の経験が就職試験に有利になることなどを生徒に浸透させているか。 | 部や同好会への入会を勧め、放課後の有効活用を勧める。施設充実を図る。 | ①部員数を増やすための方策を講じているか。 ②部活動活躍のニュースを取り上げて話題にしているか。 |
| | 3 | 生徒会活動(総会・文化祭・体育祭)に興味関心が薄い生徒がいる。 | 生徒会役員を中心とした活動に興味関心を高めるように指導をしているか。 | 生徒会活動に対して全職員・生徒が興味関心を持つ。またLHR等で学級役員・専門委員の活動を積極的に進行よう指導する。 | ①LHR等で行事への積極的な取り組みを指導しているか。 |